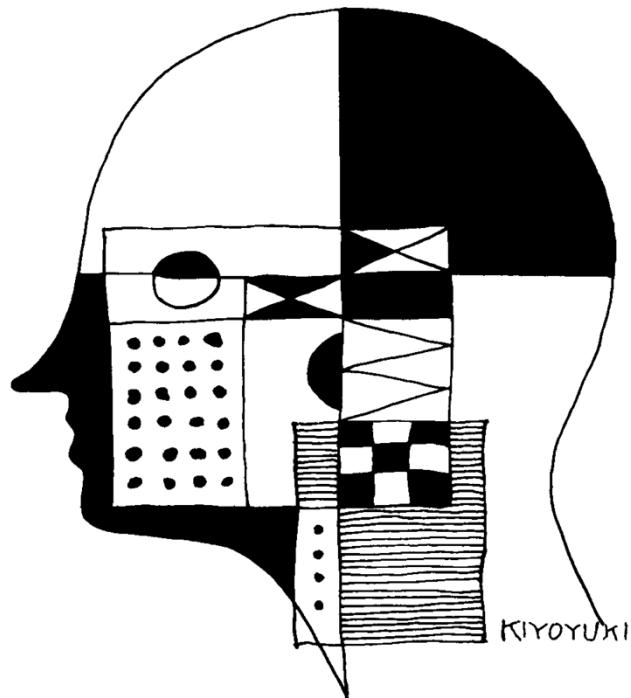


第 40 回

日本病院歯科口腔外科協議会総会・学術集会

プログラム・抄録集 (簡易版)



会期：令和 7 年(2025 年)11 月 14 日(金) 14:35－17:05

会場：福岡国際会議場 第 2 会場 (5F 501)

(第 70 回 日本口腔外科学会総会・学術大会会場内)

〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1

TEL： 092-262-4111

大会長 伊藤 雅樹
宮崎県立宮崎病院

大会長挨拶



第40回日本病院歯科口腔外科協議会総会・学術集会大会
宮崎県立宮崎病院歯科口腔外科部長

伊藤 雅樹

テーマ：『病院歯科口腔外科における中顔面骨骨折の治療

戦略』

ー口腔外科医として咬合回復のみならず、整容面、機能面にも配慮した治療を
目指してー

第40回日本病院歯科口腔外科協議会総会・学術集会 大会長を拝命いたしました伊藤雅樹と申します。ご指名をいただきました宮田 勝協議会理事長ならびに協議会役員の先生方に深く感謝申し上げます。また、この会を開催するにあたって多大なる御配慮とご厚意を賜った第70回（公社）日本口腔外科総会・学術大会大会長であります楠川 仁悟 久留米大学医学部歯科口腔医療センター教授に心から感謝申し上げます。

病院歯科口腔外科において、悪性腫瘍や顎変形症など、専門分野に特化して診療される病院が多いと思います。しかし、顔面外傷はどのような病院歯科であっても受診される疾患の一つであると思います。私共の施設は、地方病院であり、形成外科ではなく、顔面外傷の大半を当科で治療しています。その中で、中顔面骨折は咬合回復のみならず、整容面に配慮する必要があること、また下顎骨よりも複雑な解剖形態であり、粉碎骨折などが多く整復などに難渋することが多いこと、そして多岐にわたる機能を有しているため、これらを熟知して治療に携わる必要があります。そこで今回、『病院歯科口腔外科における中顔面骨骨折の治療戦略』をテーマとして、病院歯科口腔外科医として中顔面骨折治療の治療成績の向上を目指して、また、治療を行う上でピットフォールに陥らないためにシンポジウムを開催することとしました。

本シンポジウムでは、経験豊富な先生方に、中顔面領域の解剖、周囲合併損傷の有無も含めた診断、関係する医科との連携、術前評価、手術手技においては整復のポイント、術中の評価について、また骨折整復後の固定について、最後に術後評価、術後経過観察のポイントなどについてお話しeidakuこととしています。

教育講演では、口腔外科医として知っておかなければならぬ外傷患者が搬送された際の初期診療についてご講演いただくこととしています。過去に、外傷治療で苦い経験をされたことのある先生方、これから積極的に顔面外傷の治療に携わろうと考えられておられる病院歯科口腔外科の先生方にとって、実りあるシンポジウムになるよう努めます。

2025年11月14日(金) 第2会場(5F 501)

I. 総会 14:35 ~ 14:50

1. 理事長挨拶
2. 報告事項
3. その他

II. 学術集会 14:50 ~ 17:05

1. 大会長挨拶
2. シンポジウム:『病院歯科口腔外科における中顔面骨骨折の治療戦略』
一口腔外科医として、咬合回復のみならず、整容面、機能面にも配慮した治療を目指して—

座長:

堀之内 康文 (公立学校共済組合 九州中央病院 歯科口腔外科)
伊藤 雅樹 (宮崎県立宮崎病院 歯科口腔外科)

演者:

管野 貴浩 (島根大学医学部歯科口腔外科学講座)
石原 修 (大阪急性期・総合医療センター 歯科口腔外科)
亀井 和利 (横浜労災病院 歯科口腔外科)

教育講演:『口腔外科医にぜひ知っておいていただきたい外傷の初期診療』

演者:落合 秀信 (宮崎大学病院医学部 病態解析医学講座 救急・災害医学)